

令和7年度 大阪府立摂津支援学校第2回学校運営協議会 実施報告書

1. 日 時 令和7年10月28日（火） 10:00～12:00

2. 場 所 本校 会議室（中高等部棟2階）

3. 出席者 〈運営協議会委員〉

荒木 寛巳（森ノ宮医療大学教授） 大矢 優子（摂津市教育委員会 教育委員）

松元 広美（株）ダイキンサンライズ摂津 企画部担当課長

政森 景子（茨木・摂津障害者就業・生活支援センター所長）

林 義平（摂津市鳥飼上自治会 会長） 七瀧 史（本校PTA会長）

〈摂津支援学校〉

校長（村上） 教頭（竹内・岡崎） 事務長（川野） 首席（岡村・坂部・三牧）

首席兼教務部長（日高） 部主事（新地・沖・鮫島）

〈傍聴者〉 2名

4. 年間テーマ及び協議事項

年間テーマ：「摂津はひとつ～学部間のつながりを大切に～」

主な協議内容：①学校経営計画進捗状況 ②学校教育自己診断 ③「掃除・清掃」の取り組み

5. 説明、質問、協議内容など

（1）はじめに（進行：岡村 記録：三牧）

校長挨拶

・10月9日報道提供された「個人情報書類紛失」の事案について、報告およびお詫び。

・2学期は各学部修学旅行実施、また学校祭練習に取り組んでいる。忌憚のないご意見をいただきたい。

他 省略

（2）報告および協議（進行：荒木会長）

① 学校経営計画進捗状況報告（担当：村上校長）

1. 「安全で安心な学校づくり」について

・教員対象の人権研修を2回実施。第3回ではワークショップ形式にて教員が各自の考えや思いをアウトプットしながら共有し、さらなる学びにつなげたい。また「不適切指導・支援の自己チェック」について、グループディスカッションを実施した。

・通学バスコース上の国指定緊急避難場所や緊急避難場所となり得る大型商業施設等の情報収集を実施。今後各市の危機管理室と連携、調整していく。

・1学期に通学バスを運行する形で引き渡し訓練を行った。次年度以降も様々な形での訓練を実施予定。

・歯磨き習慣アンケートを実施。今後学校での取り組みを通してどのように変化していくかを見していく。

・学校HPに給食メニューの画像を掲載し、献立表のQRコードから確認できるように発信した。

2. 専門性・指導力の向上

・夏季休業期間に、教材展示会や教員による自主的な研修（「自立活動」「プールでの対応」等）を実施。

・授業実践や校務でのICT活用のため、GIGA研修を2回実施。

3. キャリア教育を柱とした一貫教育の実践

・生徒対象の事業所見学会、体験実習を実施。保護者対象として、進路説明会、事業所や特例子会社の見学会、

近隣他校と連携して合同事業所説明会を年数回実施し、進路先のイメージを持っていただけた。

- ・今年初めて、教員の他学部体験交流を実施し、発達年齢や課題の違いを実際に経験した。
- ・外部講師による情報モラル授業を実施。PTAより保護者参加も呼び掛けた。今後も継続していく。
- ・不登校児童生徒への支援は、本人だけでなく家庭への支援も必要。チームできめ細やかに対応している。
- ・地域支援整備事業の三島ブロック幹事校として、各種研修を実施した。広く地域に呼びかけ盛況であった。
- ・教職員のストレスチェック「職場のサポート」の指標が101。基準値の100以下をめざしたい。教職員のストレス緩和と学部間交流を継続的に取り組む。第1回「摂津サークル」としてバスケットボールで交流、約50名の教員の参加があった。
- ・ノーコンファレンスデイは昨年度より大幅に増加し、年間60日を予定。業務削減、会議精選を引き続き進める。

4. 「開かれた学校」の構築

- ・通学区域内の幼保小中学校等への訪問相談は100件以上実施。点から面への支援体制を構築していきたい。
- ・地域の祭りや行事に中高生徒が参加し、授業での製作物の販売活動等実施、地域の方々との交流につながった。
- ・摂津ロータリークラブとの交流について、中高生徒による記念品製作やグラウンドゴルフでの交流活動を計画。
- ・PTAの規約や体制を今年度より改訂し、新体制にて運用。給食試食会や生徒とのクリーンウォークを実施予定。

5. 新しい教育課題・組織課題への対応

- ・高等部教育課程について、改訂を進めた。R8年度から運用できるよう準備を整えている。先日の教育庁副理事、参事の学校訪問では、様々な可能性を広げていける教育課程であってほしいとの助言があった。

委員：

- ・様々な形での引き渡し訓練実施は良い。一方、一般的に災害時は、原則自動車での避難は禁止ということも周知していただきたい。

- ・歯磨き指導の開始は喜ばしい。自分で磨ける練習はもちろん、歯科の紹介等も大切と感じる。
- ・働きやすい、働き甲斐のある職場づくりは摂津市も推進しており、ぜひ進めてほしい。
- ・教員が他学部を経験する交流は、支援学校でしかできない貴重な取組み。どんどん増やしてほしい。
- ・地域の小学校の就学説明会でも、既に高校段階の進路を見据えている保護者もいる。小・中学部の教員も高等学校のことや高等部卒業後の進路についても知っておくべきだと思う。
- ・職業コースのあり方について教育庁とどのような話をしたか。

教員：

- ・現在の職業コースの人数は、学部の規模を考えたら少ない。学校としてコースを盛り立てて魅力を発信し、生徒・保護者にアプローチをしていってほしい、との助言を受けた。

委員：

- ・専門性や指導力の向上、自主的な研修などの取り組みは素晴らしい。同時に先生方の働きやすさ、安心感の充実を両輪でレベルアップしていかないといけないと感じた。
- ・歯磨き指導は家庭だけでは難しい場合もある。弊社でも定期的に口腔指導を取り入れている。歯科受診を怖がる社員もあり、学生の頃から力を入れていただけるのはありがたい。

委員：

- ・個人情報の件のご報告について、教職員全体で原因究明や対策を共有されたのは良いこと。
- ・不登校児生への取組み、地域整備支援事業や教材展示会について教えていただきたい。展示会は外部の施設職員も見学できるか。

教員：不登校児生支援では校内支援コーディネーターを各学部に配置。担任からの情報を吸い上げ、各機関に繋げてケース会議をするなどチームで対応している。教員の意識も変わってきている。

教員：教材展示会は、各先生方が日ごろ使っている教材等を出し合って一定期間教科別に展示し、お互いに自由に見学する中で自分の授業づくりの参考にするなど、学びあえる目的で始めた。毎年好評で最近はICT教材も増えてきた。当初は校内の教員向け、数年前より三島地区の学校にも案内している。基本的には

教員向けとしている。

教員： 地域支援整備事業とは、地域の小中学校等に特別支援教育に関する支援や相談を提供する「支援学校のセンター的機能」というものがあり、本校は三島ブロックの中の1校として、他の高槻、吹田、茨木の各支援学校と協力して各市の地域支援体制を充実させている。実際に地域の小中学校等に出向いて、相談を受けたり研修を行ったりしている。

委員： 職場環境改善の努力をされているが外から見たらまだ大変に見える。会議削減をさらに進めていただきたい。車の出入り口が正門1か所しかない。もう1か所増やせたらいいのではないか。

委員： ・学校側の様々な工夫と配慮に感謝している。学校として様子をアピールする努力をされているのは、PTA役員なので知っているが、保護者の多くはまだ知らないことが多い。もっと周知が必要と感じる。
・不登校支援について、長期欠席しているクラスメイトのことを心配している子どもたちもいる。不登校は悪いことではない等、子どもたちへの説明や声掛けをていねいにしていただきたい。

教員： 今年は学校ブログの内容として、行事だけでなく普段の学習の様子の掲載を始めた。さくら連絡網からのリンクを貼っているが、今後もさらに工夫を重ねたい。

委員： ・どの学校でも不登校の取り組みを始めている。WEB授業はもちろん大切。
・高等部教育課程では、以前は就職率が注目されていたが高等支援の設置、多様化の流れで卒後すぐの就労に以前ほど重きを置かなくなってきた。時代に合わせた職業コースのあり方を考える必要がある。
・教員の学部を越えた交流は貴重。授業だけない、スポーツ等の汗を流す交流も盛んであってほしい。

② 学校教育自己診断について (担当：坂部首席)

・質問項目や回答方法（保護者・教員はWEB回答、児童生徒は書面回答）は、昨年度から変更なし。
・教員については提出率100%をめざすため、未回答者に提出を促せるように匿名での回答方式をやめた。

委員： 教員向け診断について、匿名をやめた結果、提出率が100%になったとしても、回答内容がこれまでと比べて大幅に無難になってしまうなら、また別の方法を探った方が良いのでは。

③ 掃除清掃の取組み～各学部の動画視聴～ (担当：各学部主事)

教員： 「掃除・清掃」は本校キャリアマトリックスの中の1つとして設定されている。各学部で段階的に課題を定め、学部が変わっても継続して取り組めるように連続性を持たせている。

小学部 「生活」の時間や昼休みに取り組んでいる

中学部 週1コマの「キャリア」の時間

高等部 「ワーク・清掃」という授業を設定

(生活コース 1年：前後期どちらかで週2コマ 2年：週2コマ 職業コース 週4コマ)

委員： 本来の清掃活動としての学習だけでなく、キャリアマトリックスの観点、学部間の交流、地域とのつながりなど多様なねらいを含んだ、非常に良い取り組みと感じた。ぜひ継続していってほしい。

(3) まとめ

委員： 学校経営計画に基づき、順調に取り組まれている。まとめになる次回を期待している。

教員： 貴重なご意見を多数いただき、感謝したい。学校として励みになっている。この経営計画についても、校長だけでなく、教頭をはじめ首席や部主事、分掌長などさまざまな教員が各部署で分担して作成、実践していることもご承知おきいただきたい。

(4) 諸連絡 次回日程 2月24日(火)